

資 料 提 供	
令和5年8月25日	
担当課(担当者)	健康医療局健康政策課(山根・田中)
電話番号	平日 0857-26-7227 土日祝日 080-1933-3351

「熱中症警戒週間」発表及び直近の救急搬送状況を踏まえた注意喚起

鳥取県の向こう1週間の予想最高気温で30℃を超える日が5日以上予測されているため、鳥取県内全域に「熱中症警戒週間」を発表します。(今年度10回目)

また、直近の救急搬送状況を踏まえ、下記のとおり、ホームページ等を通じて県民へ注意喚起を行います。

記

1 「熱中症警戒週間」発表

- 発表日 8月25日(金)
- 警戒期間 8月26日(土)～翌週金曜日までの7日間
- 発表基準 鳥取地方気象台が発表する向こう1週間の県内の予想最高気温が30℃を超える日が5日以上予測される場合
※向こう1週間で30℃以上が予想される日 →8月26日～9月1日(7日間)
- 発表機関 鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課

2 直近の救急搬送状況

- 先週金曜日以降の死亡・重症事例(死亡1件、重症3件) →今年度累計 死亡3件、重症24件

傷病程度	月日	圏域	年代	性別	搬送状況
重症	8月18日	東部	20代	女性	8時半頃から鳥取砂丘で作業をしていたが、13時前、脱力感・頭痛があったことから仕事関係者が通報。 (救急要請：午後1時前)
重症	8月19日	東部	10代	男性	7時半頃から学校のグラウンドで陸上競技のトレーニング。ランニング中、意識消失、全身性間代性痙攣あり教員が通報。(救急要請：午前9時前)
重症	8月21日	西部	40代	男性	友人の清掃作業を手伝っていたところ、気分不良となり日陰で休んでいた。呼びかけへの反応がにぶかったため、通報。(救急要請：午前11時過ぎ)
死亡	8月24日	西部	80代	女性	道路で倒れているところを通行人が発見し通報。 (救急要請：正午前)

- 今年度(4月3日～8月20日)の搬送状況 ※()は昨年同期

○救急搬送人員数 537人(484人)

- ・世代別 高齢者333人(290人)、成人136人(132人)、少年63人(60人)、乳幼児5人(2人)
- ・症状別 死亡2人(1人)、重症23人(13人)、中等症212人(217人)、軽症299人(247人)、その他1人(6人)

- 先週1週間(8月14日～8月20日)の搬送状況 ※()は昨年同期

○救急搬送人員数 50人(28人)

- ・世代別 高齢者21人(15人)、成人24人(5人)、少年5人(8人)、乳幼児0人(0人)
- ・症状別 死亡0人(0人)、重症3人(0人)、中等症16人(8人)、軽症31人(20人)

3 県民の皆様へのメッセージ

- ・熱中症による救急搬送、死亡事例、重症事例がいずれも昨年度を上回っています。今後も例年より暑い日が続くことが予測されていますので、自分の身を守り、家族や周囲の命を守るため、熱中症対策を心がけてください。
- ・高齢の方が日中に一人で屋外に出られて熱中症になり、発見が遅れて死亡・重症化する事例が相次いでいます。高齢になると温度に対する感覚が弱くなり、自覚症状が現れないうちに熱中症になる危険があります。特に高齢の方は暑い時間帯の外出をできるだけ避け、周囲の方も意識的に声かけを行うようにしましょう。
- ・こまめな水分・塩分補給を行うとともに、適度な休憩を心がけましょう。
- ・屋内にいても熱中症で救急搬送される事例が多くあります。昼夜を問わず、エアコンや扇風機を上手に使用して室温調節し、こまめに水分補給しましょう。
- ・体調がすぐれないときは、家族や近所の方にそばにいてもらいましょう。
- ・疲れや睡眠不足、朝食抜きは熱中症になりやすくなるので、日頃から健康管理を心がけましょう。
- ・無理のない範囲で軽い運動や入浴で意識して汗をかき、体を暑さに慣れさせましょう。